

関東ブロックネットワークアク シヨン2025

令和7年11月9日

高

埼玉県立熊谷高等学校ラグビー部

監督 横田 典之



自己紹介

1968年3月8日生（57歳）

行田市出身ー熊谷市在住

行田市立東小学校ー行田市立長野中学校 バスケットボール部

埼玉県立熊谷工業高等学校 電気科 ラグビー部

3年間「花園」出場 2年次ベスト4、3年次ベスト4、鳥取国体優勝

日本体育大学 体育学部 4年次主将

大学4年次関東対抗戦優勝、大学選手権準優勝

1991年4月～2000年3月 埼玉県立吉見高等学校

2000年4月～2018年3月 埼玉県立深谷高等学校

2018年4月～埼玉県立熊谷高等学校赴任

2011、2012年 高校日本代表FWコーチ（スコットランド、ウエールズ、イタリア、フランス遠征）

2013、2014年 高校日本代表監督（イタリア、フランス遠征）

2014年～2018年 日本ラグビーフットボール協会ユース統括

2018年～ 日本ラグビーフットボール協会ユース戦略室技術委員

2018年4月～埼玉県立熊谷高等学校赴任

①第一期（10年間）

新卒→吉見高校時代

②第二期（18年間）

深谷高校時代

③第三期（8年間～）

熊谷高校

①第一期～吉見高校時代～

※自分の強み（ラグビー）だと思っていたものが生かせない？

↓

こいつ誰？？？からのスタート

- ・ラグビー以前に**目の前の生徒と本気で全力**で向き合う重要性、必要性に気付く
- ・時に厳しく、時にやさしく寄り添い、生徒から本音を引き出す。**信頼関係**を築く！！！！

↓

それから「ラグビー」

- ・人数が少ない
- ・全員がラグビー素人→強みにする

- ・遊ぶより、毎日グラウンドに来ることが**楽しい**。明日も来なくなる練習・雰囲気
- ・たくさんボールに触れて、たくさんプレーができる
- ・自分が**一生懸命**に考えて**全力**でプレーし、チームに**貢献**する、みんなから**信頼**される！！
- ・素人でも毎日コツコツ練習したら上手くなる！！

↑

今までの人生になかった経験！！

◎チームの初勝利は最大の喜び！！！！

② 第二期～深谷高校～

※いかに強くするか？いかに**「殻」**を破って悲願の

「花園」 出場を達成するのか？

「意識改革」 → グランド内、外

「個人のレベルアップ」 → テクニック、スキル、体力、経験、知識、理解力

「組織づくり」 → **指導者のレベルアップ**

- ・ 環境設定

深谷高校時代戦績（花園予選）

2000年 準決勝敗退（3位） v s 熊谷工業

2001年 決勝敗退（2位） v s 埼工大深谷 17 - 57

2002年 準決勝敗退（3位） v s 熊谷工業

※高知国体準優勝メンバー（2名）

2003年 決勝敗退（2位） v s 正智深谷 15 - 46

※静岡国体優勝メンバー（10名）

2004年 決勝敗退（2位） v s 正智深谷 17 - 21

※全国選抜大会準優勝、埼玉国体優勝メンバー14名

2005年 優勝（花園初出場） v s 熊谷工業 8 - 7 2回戦敗退

※準々決勝 v s 浦和 17 - 15 準決勝 v s 正智深谷⑫ - 12 抽選

深谷高校時代戦績（花園予選）

2006年	決勝敗退	vs 正智深谷	5 - 2 4	
2007年	決勝敗退	vs 正智深谷	1 3 - 2 6	
2008年	優勝(v2)	vs 浦和	1 3 - 0	2回戦敗退
2009年	優勝(v3)	vs 浦和	1 0 - 5	2回戦敗退
2010年	優勝(v4)	vs 浦和	1 9 - 1 5	全国ベスト16
2011年	優勝(v5)	vs 正智深谷	3 6 - 7	全国ベスト16
2012年	優勝(v6)	vs 浦和	2 2 - 7	全国ベスト16
2013年	決勝敗退	vs 浦和	7 - 1 4	
2014年	優勝(v7)	vs 昌平	3 6 - 1 4	2回戦敗退
2015年	優勝(v8)	vs 浦和	1 8 - 5	全国ベスト16
2016年	優勝(v9)	vs 浦和	3 1 - 1 2	全国ベスト16
2017年	決勝敗退	vs 昌平	1 7 - 2 1	





花園以外の戦績

関東大会

18年連続31回出場

全国高等学校選抜大会

9回出場（準優勝1回、ベスト8 1回）

全国高等学校7人制大会

3回出場（ベスト8 1回）

日本代表選手

高校日本代表 10名

山田 久郎（ニュージーランド遠征）

山沢 拓也（2年次イタリア、フランス遠征）

三笠 琳央（イタリア、フランス遠征）

中嶋 大希（イタリア、フランス遠征）

黒澤 桂（スコットランド遠征）

新井 望友（スコットランド遠征）

霜鳥 優太（スコットランド遠征）

山沢 京平（2年次スコットランド遠征、3年次アイルランド遠征）

矢吹 悠斗（アイルランド遠征）

新井 駿（アイルランド遠征）

花園に行くまで

若い頃（赴任当時）は「自分自身」が勝ちたかった！「花園」に行きたかった！！

→なかなか勝てない。勝ちたいと思えば思うほど勝てなく、「花園」に行くことしか考えなかった頃は思うような結果が出ない。結局、初出場まで6年間かかった。

チャンスをつかめず、選手の能力を引き出せない。

※矢印を自分にむけて

勉強不足、経験不足、全部自分一人でやれる！というおごり、

スタッフ、選手を信頼し切れなかった、選手も信頼し切ってくれなかった。ラグビー以外の部分を大切にするという気持ちがりなかった。

意識改革

グラウンド内

※全国で勝つチーム作り（全国基準）

※個人のレベルアップ（身体作り、DF力等）

- ・ 短時間集中、メリハリ
- ・ 常に全力でプレーすることを求めた
- ・ ひたむきな、泥臭い、痛い、身体を張るプレーを奨励
- ・ 基本の徹底
- ・ 正しいテクニック、正しいスキル
- ・ 練習相手・練習試合相手→良いチームから学ぶ、盗む、刺激を受ける
- ・ 戦略・戦術を熟慮・熟考
- ・ **DFの強化**

トンガ人留学生対策！ = 花園に行くために！

- ・当初は体重差が20kg～30kg→現在は同等かそれ以上！！
- とにかく食べることから！！→1日6食、保護者の協力
- パワーに屈しない身体作り！！→週3回のウエイトトレーニング
- 走り勝つ体力！→ボールを持たないときに勝ち続ける！！

※過去の戦績（失敗）に学ぶ

2001年 決勝敗退（2位） vs 埼工大深谷 17 - 57（40点差）

2003年 決勝敗退（2位） vs 正智深谷 15 - 46（31点差）

2004年 決勝敗退（2位） vs 正智深谷 17 - 21（4点差）

2005年 優勝（花園初出場） vs 熊谷工業 8 - 7 2回戦敗退

※準々決勝 vs 浦和 17 - 15 準決勝 vs 正智深谷⑫ - 12 抽選

- ・コンタクトプレー（DF・タックル）の徹底強化！！

意識改革

グラウンド外

※全国で勝つチーム作り、文化を構築する

※個人のレベルアップ

- ・ TIMEマネージメント→グラウンド外の時間をいかにラグビーのために使えるか？
- ・ 食事・休養・ケア・睡眠・勉強・日常生活全般←全てにおいて全国基準
- ・ **メディカルスタッフの充実→チームドクター、トレーナー、接骨医院、理学療法士**
- ・ **「負け癖」を無くす！！シルバーコレクターの返上！！**
- ・ **リーダーの強化、リーダーシップの養成**
- ・ 自主的・**主体的**

☆応援されるチーム（人間）になる（学校、先生、生徒、保護者、地域、卒業生・・・）

- ・ 勉強の取り組みー各クラス、学年上位はラグビー部員
- ・ 生徒会活動（生徒会長は14年連続ラグビー部）、学校行事

☆気づき、感謝

組織作り（スタッフ）

◎ 自分一人で出来ることに限りがある

- ・それぞれのエキスパートを可能な限り集める
（深谷のコーチ以外でも活躍している人材）
- ・多くの（コーチの）目線で、様々な立場の（コーチの）アドバイス
- ・お互いに刺激を与える！ 刺激を受ける！
（コーチ→選手、選手→コーチ、コーチ同士、）

エキスパート

- ・スキルコーチ

FW・BKコーチ、メンタルコーチ、
スペシャルコーチ（日本代表、トップリーグ等々）

- ・S&Cコーチ

ウエイトトレーニング、食事、怪我人のトレーニング、コンディショニング全般の管理等々

- ・チームドクター（熊谷市内）まつだ整形外科クリニック

- ・接骨医院（深谷市内）村山接骨医院

- ・理学療法士

- ・トレーナー

※公立高校だが、様々な人脈、繋がりを最大限に生かして可能な限りスタッフを揃える努力をした。

コーチングスタッフ

松田
ドク
ター

監 督

A、B
ドク
ター

理学療法
士

選手

S&C
コーチ

村山接骨医院

トレー
ナー

スキル
コーチ

③第三期～熊谷高校～

・ 質実剛健 ・ 文武両道 ・ 自由と自治

「意識改革」

「環境設定」

「常に進化し続けるチーム」

◎ リーダーの育成！！！！

◎ 本気で「花園」出場を目指す！！

熊谷高校

校訓

- ・ 質実剛健
- ・ 文武両道
- ・ 自由と自治



熊高の三本の矢

- ・ 学業
- ・ 部活動
- ・ 学校行事

スタッフ紹介

部長兼BKコーチ

森永 真弘（熊谷高校—広島大学）

顧問BKコーチ

岡田 桂吾（熊谷高校—静岡大学—静岡聖光学院）

顧問

菅間 隆幸（熊谷高校—早稲田大学）

FWコーチ

原 一郎（熊谷工業高校—順天堂大学—立正大学職員）

ストレングス&コンディショニングコーチ

金澤 弘修（BREAK THROUGH）

メディカルスタッフ紹介

チームドクター

松田 芳和（まつだ整形外科クリニック医院長）

チームトレーナー

松井 一幸（大谷接骨院医院長）

チームトレーナー

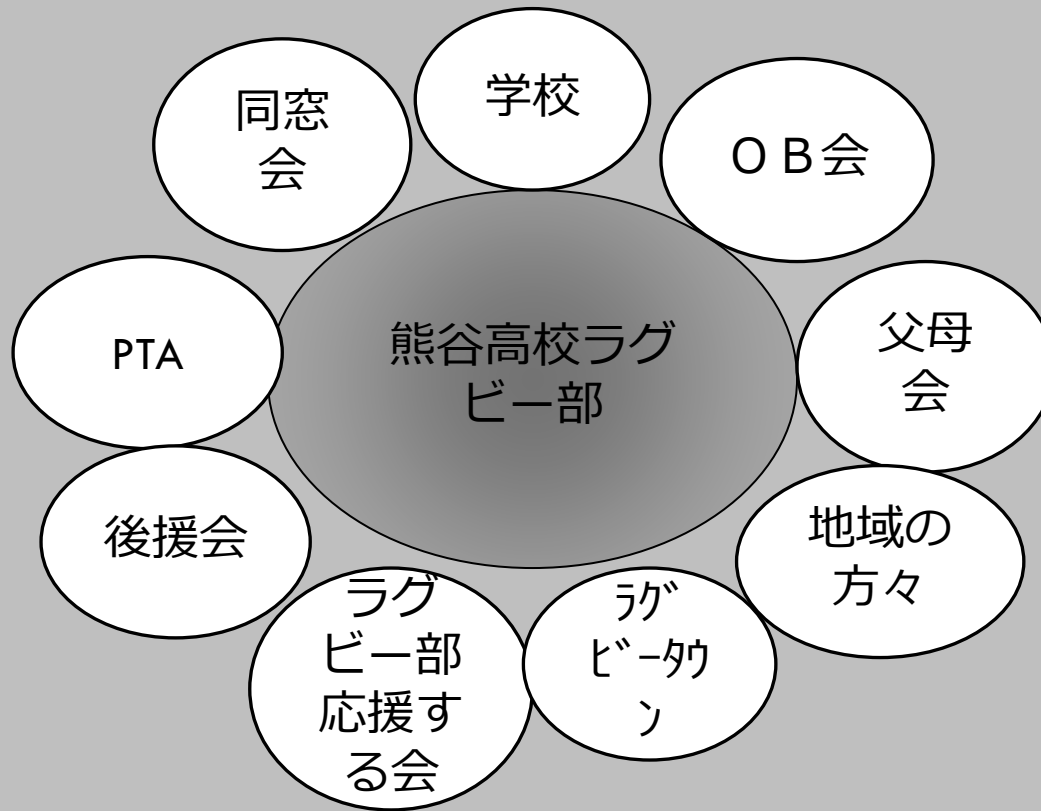
岩倉 ふみ（鍼灸院なごみ）

チームトレーナー

越口 大（堀江病院勤務・理学療法士）



熊谷高校ラグビー部



今年の戦績

新人戦県大会 **ベスト4進出 第4位**

準決勝 vs 昌平高校 22 - 40

3位決定戦 vs 熊谷工業高校 7 - 20

関東大会予選 **ベスト8**

2回戦 vs 早稲田本庄学院 91 - 0

準々決勝 vs 本庄第一高校 12 - 17

国民スポーツ大会県予選 **優勝**

決勝 vs 慶応志木高校 27 - 17

今年の戦績

全国高校ラグビー大会県予選

2回戦 v s 城西大川越高校 59 - 5

準々決勝 v s 立教新座高校 55 - 0

11/8

準決勝 v s 本庄第一高校

11/15

決勝

過去の戦績

新人戦県大会

2023年ベスト4

2024年ベスト4

関東大会予選

2022年ベスト8

2023年第6位

国体予選

2023年優勝

2025年優勝

過去の戦績

全国大会埼玉県予選

※5年連続ベスト8以上

2020年全国大会埼玉県予選ベスト4

2021年全国大会埼玉県予選ベスト8

2022年全国大会埼玉県予選ベスト8

2023年全国大会埼玉県予選ベスト8

2023年全国大会埼玉県予選ベスト8

高

熊谷高校ラグビー部

◎ **「花園出場（全国大会）」**を本気で目指す！！

→高校生ラグーマンの**「目標」「夢」**

・ **限られた時間**で高い目標に**チャレンジ**する
精神

・ **プロセス**の重要性 = **正しく積み上げる**事の重要性

・ 試合 = 練習、練習 = 試合・・・高い集中力

・ 高い**コミュニケーション**能力 → **リーダーシップ**の育成

・ 優れた**状況判断力**の強化

意識改革・環境設定

グラウンド内

※勝つ文化・チーム作り（全国基準）

※徹底した個人のレベルアップ

- ・ **短時間集中**、メリハリ、**リーダー**を中心に←**準備8割**
- ・ グラウンド内では常に**全力**でプレー
- ・ **ひたむきな**、泥臭い、痛い、身体を張るプレーを奨励
- ・ 基本の徹底
- ・ 正しいテクニック、正しいスキル
- ・ 練習相手・練習試合相手→**良いチーム**から学ぶ、盗む、刺激を受ける
- ・ 戦略・戦術を熟慮・熟考

意識改革

グラウンド外

※全国で勝つチーム作り、文化を構築する

※徹底した個人のレベルアップ

- ・一日24時間のTIMEマネジメント→グラウンド外の時間をいかに有効に使えるか
- ・食事・休養・ケア・睡眠・勉強・日常生活全般←全てにおいて全国基準
- ・**メディカルスタッフの充実→チームドクター、トレーナー、理学療法士**

・**リーダーの強化、リーダーシップの養成**

- ・自主的・**主体的**

☆応援されるチーム（人間）になる（学校、先生、生徒、保護者、地域、卒業生・・・）

☆**段取り、気づき、リーダーシップ、感謝、行動（言動）**

常に進化し続けるチーム

- ・ **現状に満足しない** → 満足したら衰退が始まる
- ・ 常に**学び続ける** → NO PAIN! NO GAIN
- ・ **リーダーの養成** → **キャプテンシー**のレベルアップ
(リーダーシップ)
- ・ 自主的に！！**主体的に！！！！**

※全てに「貪欲」に取り組む姿勢（雰囲気）を育む雰囲気・文化の熟成

コーチは選手を導く伴走者

主役は選手！

ラグビーを通じた人間形成・社会のリーダーを育成

本日はありがとうございました